



X Dignity
Keio University X Dignity Center

「情報的健康」を、日本から世界へ

—国際連携によるデジタル空間健全化への駆動—

2024年12月21日(土)
13:00~18:40
(開場 12:30)

- 会場 慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール
- 対象 どなたでもご参加いただけます ※要事前登録
- 形式 対面とzoom配信のハイブリッド
- 言語 日本語・英語(同時通訳あり)
- 参加費 無料
- 参加方法 QRコードまたはリンクから <https://forms.gle/L71qYjivRi78xAM78>
- 受付終了 2024年12月20日(金)12:00 ※会場参加は定員に達した時点で申込みを締め切ります。



特別講演① 13:40~

「公衆衛生の観点から見た情報空間の現状と課題」

ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院 公衆衛生学博士課程/
メンフィス大学公衆衛生学部 客員研究員

Tina D Purnat



経歴

医療・健康情報学の専門家であり、欧州疾病予防管理センター(ECDC)、WHO欧州地域事務所、WHO本部などで、健康情報やデジタル公衆衛生のリーダーとして活動。EUPHAヘルスリテラシー部門、WFPHAのグローバルヘルスエクイティとデジタル技術に関するワーキンググループ、WHOの健康要因専門グループの運営委員会に所属し、JMIR InfodemiologyやBMC Public Healthの編集委員、WHOワクチン・セーフティ・ネット諮問委員等を歴任。

特別講演② 14:30~

「なめらかな社会と分断社会」

東京大学特任研究員

鈴木 健



経歴

1998年慶應義塾大学理工学部物理学科卒業。2009年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。専門は複雑系科学、自然哲学。「世界中の良質な情報を必要な人に送り届ける」ことをミッションに、2012年にスマートニュース株式会社を共同創業。代表取締役会長。2014年9月SmartNews International Inc.を設立し、米国市場の展開を牽引している。著書に「なめらかな社会とその敵」など。

基調講演 13:25~

「SNS時代に問われるメディアリテラシー」



古田 大輔

日本ファクトチェックセンター
編集長

パネルディスカッション① 15:10~

「X-Talk『情報的健康』

—神経科学・認知科学の視点を踏まえて—



牛場 潤一

慶應義塾大学理工学部教授/
X Dignityセンター共同代表

ほか

プログラム

総合司会：大木 咲貴子(東京大学法科大学院学生)

<第一部> 13:00~15:00

- 13:00 開会挨拶 山本 龍彦(慶應義塾大学大学院法務研究科教授)
- 13:05 趣旨説明 鈴木 雄也(情報的健康プロジェクト事務局)
- 13:20 「情報的健康」紹介動画の放映 動画作成：Classroom Adventure
- 13:25 基調講演 「SNS時代に問われるメディアリテラシー」
古田 大輔(日本ファクトチェックセンター編集長)
- 13:40 特別講演① 「公衆衛生の観点から見た情報空間の現状と課題」
Tina D Purnat
(ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院公衆衛生学博士課程/
メンフィス大学公衆衛生学部客員研究員)
- 14:30 特別講演② 「なめらかな社会と分断社会」
鈴木 健(東京大学特任研究員)

<第二部> 15:10~17:20

- 15:10 パネルディスカッション①
「X-Talk『情報的健康』—神経科学・認知科学の視点を踏まえて—」
モデレーター：山本 龍彦(慶應義塾大学大学院法務研究科教授)
パネリスト：牛場 潤一(慶應義塾大学理工学部教授)
徳永 聡子(慶應義塾大学文学部教授)
小久保 智淳(東京大学大学院情報学環助教、KGRI客員所員)
- 15:50 パネルディスカッション②
「『情報的健康』の国際連携に向けての課題」
モデレーター：水谷 瑛嗣郎(関西大学社会学部メディア専攻准教授)
パネリスト：鳥海 不二夫(東京大学大学院工学系研究科教授)
Tina D Purnat(ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院博士課程)
Thitirat Thipsamritkul(タマサート大学法学部講師
(国際法センター、日本法研究センター))
水嶋 一憲(大阪産業大学経済学部国際経済学科教授)
鍛冶本 正人(香港大学ジャーナリズム・メディア研究センター教授)

<第三部> 17:45~18:40

- 17:45 情報的健康に関する基本学術連携協定
- 18:35 閉会挨拶 山口 寿一(株式会社読売新聞グループ本社代表取締役社長)

パネルディスカッション② 15:50~ 『『情報的健康』の国際連携に向けての課題』



水谷 瑛嗣郎

関西大学社会学部
メディア専攻准教授



鳥海 不二夫

東京大学大学院
工学系研究科教授



水嶋 一憲

大阪産業大学
経済学部
国際経済学科教授

Tina D Purnat

ハーバードT.H.Chan公衆衛生大学院
公衆衛生学博士課程在籍
メンフィス大学公衆衛生学部 客員研究員



Thitirat
Thipsamritkul

タマサート大学
法学部講師
(国際法センター、
日本法研究センター)



鍛冶本 正人

香港大学
ジャーナリズム・
メディア研究センター
教授

17:45~ 情報的健康に関する基本学術連携協定

慶應義塾大学X Dignityセンター・水嶋一憲(大阪産業大学)・鍛冶本 正人(香港大学)
Dongsheng Zang(ワシントン大学)・ポーランド科学アカデミーフランス・ポーランド法思想研究センター
Caroline Lequesne(コートダジュール大学)・タマサート大学法学部

本シンポジウムでは、健全な言論空間に関する各国の議論を参照しつつ、国際的な視点から、日本や世界が今後向かうべき言論空間のあり方、そして「情報的健康」という概念それ自体について、さらなる検討を加える。また、本シンポジウムを、情報空間の問題点について、国際的な枠組みによって対応していくにあたって、「情報的健康」を国際的に普及させるとともに、様々な研究や活動を実践していくなど、各国の研究機関・研究者と協働する契機としたい。

後援



計算社会科学会



協力



お問い合わせ

慶應義塾大学 X Dignityセンター
「アクション・エコノミーと情報的健康」
サブユニット事務局
info-health-group@keio.jp